

2024 年度の事業報告書

2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人スーパーサイエンティストプログラムプラス

1 事業の成果

- ・以下の事業を実施した。
- ・全国から中高生を募り、新規受講生 8 名を含む 9 名に対し科学研究活動の指導を行った。
- ・毎週 1 時間程度実施したオンラインによる研究指導と、今年度（2024 年度）中に対面での研究指導を 5 回実施した。
- ・前年度までの研究指導により、国際学会 2 件、国内学会 1 件の発表を行った。
- ・今年度の研究指導により、翌年度に国際学会 2 件の発表を予定している。
- ・事業の一部は、公益財団法人電気通信普及財団による「ICT とハンズオンを併用した SDGs 課題解決能力を有する人材育成法の開発」の助成を受けた国立大学法人滋賀医科大学（以下、滋医大）と一部共同で実施した。
- ・事業の一部は、「探求初歩講座」を開催する国立大学法人北海道大学 MDSC（以下、北大 MDSC）と一部共同で実施した。
- ・その他の詳細は、本法人ホームページ (<https://sspplus.org/>) に掲示する。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千円)
① 高校生等による主体的な研究活動のサポート事業	・研究活動に興味のある中高生を全国的に募集し、週 1 回のオンラインミーティング等を通じて研究指導を行った。 ・滋医大と一部共同実施した。	(A) 週 1 回程度 (B) オンライン (C) 約 15 名	(D) 中高生 (E) 9 名	541 (うち、ボランティア評価費用 527)
② 研究成果発表ならびに受講生間での交流会事業	2023 年度第 4 回交流会 ・昨年度実施した交流会の立替金清算のため、手数料を支出した。 ・「探求初歩講座」として北大 MDSC と一部共同実施した。 ・滋医大と一部共同実施した。	(A) 2024/3/28-30 (B) 北大エンレイソウ (C) 6 名	(D) 中高生 (E) 4 名	共同実施 21

	2024 年度第 1 回交流会 ・受講生間の交流を図るとともに、対面での研究発表練習や日本地球惑星科学連合の発表・見学を行った。 ・滋医大と一部共同実施した。	(A) 5/25-26, 28 (B) 幕張メッセ等 (C) 9 名	(D) 中高生 (E) 4 名	790 （うち、ボランティア評価費用 190）
	2024 年度第 2 回交流会 ・新年度受講生間の交流を図るとともに、対面による集中的な研究議論や、TA による研究発表を行った。 ・衛星画像解析演習や Python 入門講座を実施した。 ・「探求初歩講座」として北大 MDSC と一部共同実施した。 ・滋医大と一部共同実施した。	(A) 8/5-6 (B) 北大エンレイソウ等 (C) 11 名	(D) 中高生 (E) 8 名	共同実施 1 696 （うち、ボランティア評価費用 95） 共同実施 2 195 （うち、ボランティア評価費用 95）
	2023 年度第 3 回交流会 ・受講生が農業農村工学会に参加し、研究成果発表を行い、多数の専門家と交流した。 ・滋医大と一部共同実施した。	(A) 9/10-12 (B) 弘前大学文京町キャンパス (C) 1 名	(D) 中高生 (E) 1 名	44
	2023 年度第 4 回交流会 ・受講生間の研究議論の場を設けるとともに、アドバイザーによる研究活動の意義について講演を実施した。 ・滋医大と一部共同実施した。	(A) 11/17 (B) 北大エンレイソウ・オンライン (C) 4 名	(D) 中高生 (E) 7 名	107 （うち、ボランティア評価費用 24）
	2023 年度第 5 回交流会 ・受講生間の研究議論の場を設けるとともに、北大宇宙ミッションセンターの見学や衛星画像等の解析講座を実施した。 ・「探求初歩講座」として北大 MDSC と一部共同実施した。	(A) 1/11-12 (B) 北大エンレイソウ等 (C) 6 名	(D) 中高生 (E) 32 名	782 （うち、ボランティア評価費用 131）
③その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	受講生用貸出 PC 購入事業 ・受講生の研究活動のため、PC を貸出用に購入する。 ・芳心会助成事業に採択された。	(A) 購入は次年度 (B) - (C) -	(D) 中高生 (E) 今後、本事業に参加する不特定多数の者	2